

日本ブリーフサイコセラピー学会 第32回オンライン大会 2022年9月10日(土) 15:45~17:15
《自主シンポジウム》

セラピストの「お役立ち感」を高めるためにできること

ジョイニングからチューニングへ

【企画者・話題提供者】
久保田将大 (東京都石神井学園)
前野 隼兵 (横浜労災病院・生長の家神の国寮)
八巻 秀 (駒澤大学・SYプラクティス)



最初に～

企画＆話題提供者の自己紹介



① 久保田将大



② 前野 隼兵



③ 八巻 秀

企画＆話題提供者の自己紹介 ① 久保田将大

- 2016年 駒澤大学大学院人文科学研究科 心理学専攻臨床心理学コース修了
- 東京都石神井学園 心理療法担当として入職
- 2017年 千葉県某私立高校でSCとして 半年勤務(産休代替)
- 現在 東京都石神井学園 正規職員として勤務継続
- 資格 臨床心理士(1回更新)/公認心理師



企画＆話題提供者の自己紹介 ② 前野隼兵

資格 臨床心理士/公認心理師/産業カウンセラー

職歴 2014.3 大学院修士課程 修了
2014.4-2018.3 総合病院 健診事業部
2014.4- 横浜労災病院 勤労者のメンタルヘルスマネジメントセンター
2015.4- 児童養護施設 生長の家神の国寮
2018.4- 東京都立学校SC
2021.4- 福祉系専門学校 講師



前野 隼兵
Junpei MAENO

企画＆話題提供者の自己紹介 ③

八巻 秀 : 公認心理師・臨床心理士

- 東京都内の精神科・心療内科・カウンセリングセンターなど「臨床心理士」として勤務。
- 2001年4月より秋田大学に勤務。秋田県内スクールカウンセラーや秋田大学医学部附属病院にも勤務。
- 2006年「やまき心理臨床オフィス」を開設。
- 2008年4月より、駒澤大学 文学部 心理学科に勤務。
- 2019年4月より、東京都国分寺市に「SYプラクティス」を開業。
- やまき心理臨床オフィス・スーパーバイザー、若手県総合教育センタースーパーバイザー、沖縄国際大学非常勤講師、某市のいじめ問題対策委員、など。



はじめに：企画趣旨

- 心理職が様々な臨床現場で貢献できるように活動していく(＝お役立ち感を高める)ためには？
- ✓職場の他のスタッフとの「連携・協働」が重要だが、状況次第では「連携・協働」以前の配慮や工夫が必要。
- それは果たして「ジョイニング」だけでいいのか？
- ✓職場で関わる人々全体と双方向的に「合わせ合う」ことが必要では？ その連携・協働につながっていく作業を「チューニング」と呼ぶことにし、その意義や有効性について話題提供。
- 本シンポジウムでは、現場のセラピストの「お役立ち感」を高めるための「チューニング」について検討してみたい。



本シンポジウムのスケジュール

15:45~15:55 話題提供者の自己紹介と企画趣旨

~16:10 話題提供①：久保田

~16:25 話題提供②：前野

~16:35 ★参加者（3~4名）によるリフレクティング

~16:45 シンポジスト3名によるリフレクティング

~17:00 話題提供③：八巻

~17:15 全体討論（チャットによる）

ここで事前に★のリフレクティングをしてくださる方を勝手ながら、指名させていただきます。



本シンポジウムの資料は
話題提供後にチャットで配布します。
もしも届かない場合は～
yamaki@komazawa-u.ac.jp
までお問い合わせください。

よろしくお願いします



参加者によるリフレクティング

これまでの話題提供を聞いての感想・意見・疑問点などについて、自由に●分ほど、お話しいただけますか。どうぞよろしくお願いします。



話題提供者によるリフレクティング

これまでの参加者によるリフレクティングを聞いての感想・意見・疑問点などについて、●分ほど、話題提供者3人でお話しします。



この間に、チャットでの感想・意見・質問などを受け付けます。どうぞ気軽にお書きください。

日本ブリーフサイコセラピー学会 第32回オンライン大会 《自主シンポジウム》
セラピストの「お役立ち感」を高めるためにできること

セラピストの「お役立ち感」 が持つ「思想的・技法的」背景

ジョイニングとチューニングの違いは何か

八巻 秀
(駒澤大学・SYプラクティス)



いきなりですが、1つ問いを～

ジョイニングって、
何のためにするのでしょうか？



何のためにセラピストは
ジョイニングをするのでしょうか？

セラピストが
クライアントや職場に
溶け込むため。



クライアントあるいは職場の同僚に
セラピストが
治療的影響力を持てるため？

私たちは人をコントロールしたいのか？

・心理臨床におけるセラピストの2つのスタンス。

➤ 垂直的スタンス

・垂直的臨床思想が背景にあり、
主導権やコントロールに意識。



➤ 水平的スタンス

・水平的臨床思想が背景にあり、
仲間関係や対話に意識。



「お役立ち感」の背景思想は～

- ・ 職場や社会に貢献できるようになりたい。
- ・ みんなと「仲間」になりたい。
- ・ クライアントや家族が、よりハッピーになれるようお手伝いしたい。
- ・ 対話を続けていきたい。
などなど～そこには



➤ **水平的臨床思想が根底にある！**

ジョイニングとチューニングの違い

➤ ジョイニング

・ 根底に垂直的臨床思想があり、
そのために意識的な水平的な関わり方を行う。



➤ チューニング

・ 根底に水平的臨床思想があり、そこから生まれてくる水平的な関わり方を行う。

✓ セラピストの臨床的関わり方の精度を上げていくためにも
「臨床思想」の意識化は大切！

セラピストの「お役立ち感」を高めるためにできること

「臨床思想」とは何か？

- 多くの心理療法は、技法と理論の循環で体得していく。
- 理論が進化すると技法も進化し、逆もまた然りだが、それらを一方的に、常に学び続けなければならない。
- ✓「臨床思想」とは、技法（実践）と理論（考察）の循環をしながらも、一歩深めていく人間観・幸福論。
- 例） 共同体感覚。P循環理論。対話主義。
外在文化。臨床的主体性。
- 臨床思想の意識化は、臨床実践のための核になる重要なもの。

現代における2つの臨床思想

- 「垂直的（臨床）思想」に比べて、「水平的（臨床）思想」は（大切と思っている人は多いが）理想論と捉えられて、世の中に真の意味で広がっていない。
- 「垂直」に「水平」が支配されがち？
- 「垂直」と「水平」の思想や文化のどちらが正しいということではない。どちらかに偏りすぎると、何らかの問題が生じる。
- 状況により「垂直」と「水平」の2つの臨床思想を使い分けられるようになることが大切。
- ✓ただし、人間最後は「水平」の状況になる！

「垂直」優位の時代における人と人が関わる時の留意点

- 現代社会は「垂直的思想や文化」優位の社会。
- 様々な局面・場面に「垂直的思想」が入り込んでいる。
- ✓人と人との関わりの場面においてさえも、関わる人の姿勢や考え方が「垂直優位」になってしまう危険性が常にある。
- ☞ 様々な人と関わりの場面において、意識的に「水平的思想を持ちながら水平的な関係を作るよう関わっていくこと（＝チューニング）」も必要！

水平的思想の1つがアドラー心理学の～

◆ **共同体感覚 (social interest)** 対人関係のゴール！

- 精神的な健康のバロメーター。他者との関係が良好であること、つまり、他者の関心に関心を持ち、それにもとづいて他者やその社会共同体に貢献しようとする決意。このような他者への関心と貢献への決意をいう。「つながり感覚」とも言われる。

あらゆる人間関係の究極の目標は「共同体感覚の育成」である。

現代における水平的臨床思想の意義

垂直優位の現代社会において、一人一人が意識的に「水平的思想」を身につけながら実践していく（水平的スタンスを取れる人になっていく）ことも必要なのではないかと！

- アドラー心理学を日本に初めて紹介した野田氏の言葉。

現在の社会は競争的であり、むしろ反共同体感覚的なのです。アドラーにとって、治療や教育は、個人の共同体感覚の育成の過程であると同時に、社会全体が共同体感覚にもとづいたものに変革されるための過程でもある。

野田俊作 (精神科医)

だいぶ大きな話になりましたが～

- ✓日々の臨床活動において「お役に立ちたい。そのために自分ができることは？」というチューニングを継続していくことが、水平的スタンス（あるいは水平的な思想）を少しずつ培っていくのではないかと。
- ✓そうすることで（垂直優位の社会の中で）少しずつ水平的な世界が広がって（一人一人の共同体感覚が育成されて）いくのではないかと。

セラピストの「お役立ち感」を高めるためにできること

水平的臨床思想による対人関係論

対人関係のカードは、水平的な関係を作ろうとする
(=チューニングする)自分が握っている！

- ✓ 今これからの関係を考えるしかない。
 - ☞ 過去の関係・出来事にとらわれないこと
- ✓ 人は変えられない。でも私は変えられる。
 - ☞ まず不器用であっても自分の行動を変えてみる



これらを行なっていこうとする「ささやかな勇気」を持ちながら、
対話を続けていこうとすること！

以上で
私の話題提供を終わります。
ご清聴ありがとうございました。

ちょっとだけ宣伝を～



「日本個人心理学会」 に入会しませんか？



- アドラー心理学を研究する学術団体です。
- 2022年10月9日に会員の集い、10月29日に研修会、2023年3月4日～5日に第2回の学術大会（いずれも東洋学園大学：東京都千代田区）を行う予定です。
- ぜひ、ご参加ください！
- 詳しくは、学会HPをご覧ください。



2019年3月の設立総会の様子

今日のシンポジウムの感想を
以下のメールにいただくと、
励みになります！

yamaki@komazawa-u.ac.jp

- ✓ お時間がありましたら、どうぞよろしくお願ひします。
- ✓ チャットの資料が届かない場合も、こちらにお問合せください。

